

入場無料

認知症になっても安心して外出できる町づくり ～ 道迷いSOSシンポジウム ～

道迷い(徘徊)での行方不明者が年間1万5千人を超え、沖縄県内、うるま市でも行方不明になるケースが毎年発生しています。

家族は終始目が離せない負担から、疲弊している事が多く、地域で支え見守る体制が必要となっています。

認知症は誰でもかかる可能性のあるありふれた病気であり、将来、私達が認知症になっても安心して外出できる(暮らせる町)は私達自身がつくるしかありません。

今回「認知症になっても安心して外出できる町づくり ～道迷いSOSシンポジウム～」を通じて、ドキュメンタリー映画や色々な立場の方の体験や思いを聞いて一緒に、認知症の人もそうでない人も安心して暮らせる町について考えるためのシンポジウムを開催いたします。



プログラム

- 12:30 開場
- 13:00～14:20 映画上映 「徘徊ママリン87歳の夏」
- 14:35～15:55 シンポジウム 「認知症になっても安心して外出できる町」
アンケート記載 16:00終了予定
- パネリスト(予定)

酒井章子さん(徘徊ママリン87歳の夏のドキュメンタリー映画の当事者)
認知症当事者、家族、介護関係者

日時 平成31年1月19日(土)
13時～16時

会場 うるま市民芸術劇場 燈ホール
(うるま市字仲嶺175)



主催 認知症と伴に+友として 安心して暮らせるうるま市をつくる会

後援 うるま市、社会福祉法人うるま市社会福祉協議会、一般社団法人沖縄県認知症グループホーム協会
一般社団法人沖縄県介護支援専門員協会うるま支部、公益社団法人認知症の人と家族の会沖縄県支部

お問合せ先 〒904-2241うるま市兼箇段1327-1
電話098-989-0159
歩行と脳のフィットネスデイサービスPLIFE 担当: 仲里

H A I K A I

徘徊 On The Road

ママリン87歳の夏

田中幸夫監督作品
ドキュメンタリー映画

母娘のズレまくりの掛け合いに思わず大爆笑！
従来の認知症ドキュメンタリー映画のイメージを変える傑作ドキュメンタリーが大阪から生まれました。
今春の関西三都先行上映では、場内は笑いの嵐。
舞台挨拶ではママリンとの記念撮影に行列ができ、まさに、認知症界のアイドル誕生です。
不謹慎にもつい笑ってしまう、前代未聞の認知症ドキュメンタリー映画！

【過去4年間の徘徊記録】

家出回数：1338回
徘徊時間：1730時間
徘徊距離：1844km
最長徘徊時間：15時間/日
最長徘徊距離：12km/日
お世話になった交番・警察署：31カ所

寄せられた感想の一部

- ✿想定外の大爆笑映画！
✿上等の悲劇と喜劇を観たよう。
- ✿ママリン、可愛いいい、面白いいい。電信柱にしゃべりかけてるシーンは笑っているのか…。
✿見えない見せない介護の真実を曝け出した勇氣。
- ✿この母娘と赤裸々な真実に勇氣付けられる方々が沢山居ると思います。
✿ちょっと失礼かなと笑いを押し殺していたら、もおおお～涙が出てきて大変でした。
- ✿「認知症？人間も大変だなあ」って猫の表情がスクリーンいっぱい。思わずニコリしてしまいました。
✿認知症が怖くなくなります(笑)

大阪北浜。大都会のド真ん中に、ちょっと訳ありの母娘が住んでいる。母は認知症、娘は自宅マンションでギャラリィを営む。屋夜の別なく徘徊する母と見守る娘の姿は、近所の誰もが知っている。徘徊モードが一息つけば、母娘一緒に居酒屋やバーにも寄る。そんな二人の生活は6年になる。

「老いには勝てぬで、徘徊もショートになってきましたが…」
不条理な生活をユーモアでしのぐ。

認知症を受け入れるとは…、老いとは…、人間とは…。

一生に一回のママリンの老後



この位牌お父さんちゃう！

正しく正式に
バッチリ死んではよ



映画公式サイト hai-kai.com

申し込み送信用紙

- 申し込みFAX番号：098-923-3210
- デイサービス つる 担当：八部 宛
- 締め切り 平成30年12月29日(土)

代表者氏名	所属(施設名・家族)	連絡先(電話番号)	参加人数